

いつもやさしい駐在さん ～縁あって東に

吉田 光佑（よしだこうすけ）さん

東に来て2年目になります。地区の江ざらい（堰あげ）等にも毎年参加して、地域に溶けこんでいます。地域づくり協議会のお茶の間サロンにも来ていただき、お話をさせていただきました。

とてもまじめな方です。

「少しでも早く、顔を覚えていただき、又皆さんの顔を覚え、気軽に声を掛けていただければ」とお話していました。

とても笑顔の素敵な駐在さんです。



今、地域ではなにがおこっているのだろうか？

当会総会が4月26日サイクリングターミナルで開かれた。上村市民センター長から、（仮称）東地区活性化検討委員会が提起された。

ここからは、私、上村則夫の私見である。
今、地域ではなにがおこっているのだろうか？いずれ、だれもが考え、対応をしていかなければならない問題がそこにある。

山間部のどの地域も高齢化率は30%を越えてきている。世代が

移り変わる中、どの集落も総合力がなくなっている。また、戸数が減り、一集落では行政ができないことが生じている。



私たちはなぜか自分が地域で暮らしながらも地域の状況や現状の変化に鈍感でなかったか。「限界集落」が指摘され、今集落の維持、継続は国、県、地域あげての大きな課題である。言葉や紙面上をおどってきたことがまさに現実となってきた。

日常と違うことをするのはめんどくさい。簡略化する方向に社会が向かって、個々の生活を重視する方向・姿勢が強くなり、社会のつながり・地域のつながりを弱めていないか、もう一度考えてみないといけない。

そんな中で、今回の提起は地域の疲弊を座して待つだけでなく、子供たちが地区を愛し、帰って来たくする東地区をつくるため、地域の人材・資源を総動員して知恵と力を出し合い立ち上がろうと提起している。

わたしの受けた印象では、事業骨子は地区全体として、地域課題を話し合う会を設け、活性化計画を作成し、できるところから取り組みをはじめたいとしている。会議は月1回程度開催し、全体会と話題を絞り込んだ部会を設けて、部会ごとに地域課題の共有化と対策案を年内メドに集約したいとしている。具体的な部会構成（案）は福祉部会・教育部会・産業部会・交流部会・総務部会で部会メンバーは区長会

・市議・消防団・公募参加者等で自分の希望する部会に入る。

提起された検討委員会の内容や



取り扱いを含めて、地域づくり協議会役員会で今後、検討をしていかなければならない。

誰もが自分の地域が集落が衰退していいとは思わない。安心して暮らせる優しい地域づくりを考えていかないと。

多くの議論を必要とする課題である。

親しみのある広報をめざす

広報部会では新年度から、より親しみのある広報をめざします。やわらかいニュースも載せていきたい・コーナーも増やしたいと考えます。

（上村則夫記）



第40回八海山おおくら火渡り祭～5月27日

第40回八海山おおくら火渡り大祭の開催が近くなりました。弘法大師の開基と伝えられる霊峰八海山麓で、毎年春の5月最終日曜日に開催され、県内外・地区内から集まった皆さんが無病息災・家内安全・商売繁盛などそれぞれ祈願しながら、2本の神道を渡ります。

今年も5月27日（日）朝、9時30分から火渡り大祭が始まります。10時ころ点火され、佳境の火渡りは11時ころからとなります。当日は稚児行列・八海太鼓の演奏や福餅撒与等も計画されています。

勇壮な火渡り大祭の様子です

